



## 子どもたちの未来をともに考える



### 校長 大谷 京司

芸術祭での「未来」の展示・体験ブースで見る子どもたちの描く近未来像は、リニアモーターカーや自動ベッドなど、とても便利で快適な暮らしを支えるものでした。誰もが望む平和であたたかな社会を創るには、過去の歴史に対する認識が不可欠と思い、芸術祭の最後に、子どもたちと保護者の皆さん、教職員とともに未来を考える時間をもちました。



東京大空襲から逃れるためにどぶ川に浸かって一晩過ごすも幼い妹さん2人の命が失われた経験をお話くださった辻里子さん。その時の心境を伺ったところ、当時、小さい頃からお国のために命を懸けることが当然のように教え込まれていたことから、その瞬間は、ただしかたがないと思ったと静かに語っていただきました。



息子さんでいらっしゃる忍さんからは、とかく厭われがちな雨にも生物の成長に欠かせない等大きな意味があり、その雨を受けて天に向かって伸びてゆく力強さを表現した彫刻作品をご紹介します。

未来を創り上げていく主体は自分自身であり、改めて悲惨な戦争を繰り返さない、やさしい未来をめざしていこうという決意を新たにしたいひと時となりました。

## 七沢森の芸術祭 ～七沢万博～

威勢のよい和太鼓演奏から始まり、鍵盤ハーモニカやリコーダーによる器楽合奏、全校合唱と続き開幕した七沢森の芸術祭。

今年は、今までの図工の作品や書初めの展示とともに、縦割りグループごとに「日本」「世界」「未来」の展示・体験ブースを作り、足を運んでいただいた皆様が楽しめるように随所に工夫を凝らして「七沢万博」と名付けました。大人では思いつかないような子どもたちのアイデア満載のユニークな万博になったと思います。





子どもたちは、展示・体験ブースの担当と前後半入れ替わりながら、プロジェクトの発表も行いました。今年度は、テーマを公開して保護者の支援を仰いだこともあり、少しずつですが、

子どもたちの探究の質が向上していると感じました。

子どもたちの発表に真剣に耳を傾け、内容を掘りさげるような質問も投げかけていただいたおかげで、子どもたちもプロジェクトに自信をもてるようになったことと思います。



## どすこい大相撲七沢場所

今年も芝田山(元横綱大乃国)部屋さんのご協力をいただき、「どすこい大相撲七沢場所」を行いました。

四股踏みや股割などをみんなで体験した後は、今回来ていただいた浜田山さんと若肥前さんの取組で技の紹介などもしていただきました。

その後は、対戦を希望する子どもたちが四股名を自分で考え、園児も含めて次々に対戦していきました。



2人がかりでいくら押してもびくともしない力士の強さに息を切らし驚きながら、相撲の楽しさを満喫したようでした。

今回は、かなり練習をしたうえでこの場所に臨んだこともあり、浜田山さんから、昨年より一人ひとりが強くなったと実感したという言葉をいただきました。



2026.1.30

## 味噌作り

今年は、昨年に栽培した大豆が豊かに実り、味噌作りの大豆は、すべて本校の児童が栽培・収穫した大豆でまかなえました。夏の暑さ対策として、花の咲く時期に少し水やりをしたのが功を奏したのかもしれませんが。

大釜で煮た大豆の味を確かめてみたり、豆をつぶすときの感触や温かさを感じてみたり、煮大豆と塩と麴を混ぜ合わせる時の匂いなど、五感を使いながら楽しんで味噌作りができたようです。

出来上がった味噌はしばらく味噌樽で保管して、今年の夏以降の給食に味噌汁として提供する予定です。

